



体操 山室光史選手

感動をありがとう！



こ

が

古河

広
報

No.134

11

NOVEMBER
2016



- ①大勢の市民から歓迎を受ける山室選手
- ②感謝状贈呈式では「2020年東京オリンピック」への出場を力強く誓ってくれました
- ③菅谷市長から感謝状を贈呈
- ④男子団体総合決勝、つり輪の演技。悲願の「金」に日本中が歓喜にわきました

リオデジャネイロ
オリンピック

感動をありがとう

日本中が感動と熱気に包まれたリオデジャネイロオリンピック。体操男子団体で金メダルに輝いた古河市出身の山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)が9月21日、市役所総和庁舎を訪れ、市長から感謝状を贈呈されました。

市では、日本代表決定後からJR古河駅に横断幕を掲示したり、広報紙等で紹介したりするなど、市民一丸となって山室選手へエールを送ってきました。

ふるさと「古河」に凱旋した山室選手が、オリンピックの感想や今後の目標を語ってくれましたので紹介します。

「おめでとう」約300人がお出迎え

9月21日、市民や市職員など約300人が市役所総和庁舎前で山室選手を出迎えました。

首に金メダルを掛けた山室選手が到着すると、手作りの国旗の小旗を振った市民から「おめでとう」「感動したよ」と、大きな声援と拍手がわき起こりました。

また、東京や大阪など遠方から駆けつけた体操ファンもいて、「おめでとうが言いたく

てここまで来ました。出迎えに参加できて感激です」と話していました。

市民に喜びと感動を与えてくれたことに感謝

感謝状贈呈式には、山室選手の母の礼子さんや、小・中学校時代の恩師なども出席。菅谷市長から「市民に多くの喜びと感動を与え、古河市の名声を高めた」とする感謝状が



④

(写真提供：共同通信社)

体操 山室光史選手に感謝状贈呈

山室選手へ手渡されました。

菅谷市長は、「山室選手は古河市の誇りです。4年間の努力の成果が実った金メダル。古河市のため、日本のためにも東京オリンピックをめざしてがんばってほしい」と挨拶しました。

応援ありがとうございました 4年後も「金」を狙いたい

山室選手からメッセージを寄せていただきました。

「オリンピックの応援ありがとうございました。皆さんのおかげで金メダルが取れたと思います。この4年間、苦しいことが多くて大変でしたが、今回金メダルが取れたことでようやく努力が報われ一安心しています。大会ではミスも出ましたが、チームが互いに支

え合い、助け合い、そして皆さんの応援が力となり金メダルが取れました。4年後の東京オリンピックではぜひ会場に足を運んでいただき、金メダルを取る瞬間を生で見ていただきたいと思います。今後とも応援よろしくお願いいたします」。

4年後の東京オリンピックという大舞台への強い意欲を見せた山室選手。古河市は山室選手をこれからも応援し続けます。

山室光史選手

平成元年1月生まれ・27歳。古河第一小学校、古河第二中学校、埼玉栄高等学校、日本体育大学。小学2年生で体操を始める。ロンドンオリンピックに続き2大会連続の代表入り。コナミスポーツクラブ所属。

子ども未来事業

子どもは地域の宝もの。子どもたちの笑顔は地域全体を明るくしてくれます。

市では、若者に選ばれるまちづくりの一環として、夢と希望あふれる古河市のさらなる飛躍に向けた「子ども未来事業」を昨年度から展開中です。

少子高齢化が進む今、古河市に暮らす全ての人が輝き、活力と魅力ある市になるために、子育てを市全体で応援し、支えています。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

子ども入園課(総和庁舎) ☎92-3111

子どもの笑顔満開！ 「ワンワンとあそぼうショー」



10月8日、NHKEテレの幼児番組『いないいないばあっ！』のワンワンが、昨年に引き続き「古河関東ド・マンナカ祭り」に登場。音楽を使った遊びや体操を通じて、親と子が温かくふれあえるステージショーが行われました。

子どもたちは、普段テレビで見ているワンワンが目の前に登場すると大興奮。うたのおにいさんに合わせて歌を歌ったり、ワンワンのダンスに合わせて元気に体を動かして、ステージに夢中になっていました。【企画課】

高濱正伸さんの子育て論に共感 「子育て講演会」



7月12日、花まる学習会代表の高濱正伸^{たかはま まさのぶ}さんを講師に迎え「子育て講演会」が開催されました。テーマは「母親だからできること」。真剣なまなざしで高濱さんの子育て論に聞き入る保護者からは、「子どもとの接し方を見つめ直すきっかけになった」「母親としてのあり方を考えさせられた」という感想が寄せられました。

夫婦で聴いて、父親・母親・それぞれの役割について一緒に考えるきっかけになったようです。【企画課】

ー 未来へのまなざし ー

古河市は子育て世代を応援します

市では、子育て世代の多くが抱える悩みや不安を解消するため、多彩な子育て支援事業を展開しています。

核家族化や共働き世帯、ひとり親家庭などの増加により、保育ニーズが高まっています。未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、地域全体で子育て支援に取り組んでいきます。



「駅前送迎保育ステーション」 働くパパ、ママをサポート



ステーション(駅前ヤンチャ森)と市立保育所を結び、登園・降園することができるシステムで、11月から事業をスタートします。

早朝に通勤するため保育所への送迎が難しい保護者に代わり、市立保育所7カ所とJR古河駅西口前「駅前ヤンチャ森」との間を、園児を乗せてワゴン車で送迎します。利用料は月額2,000円～3,000円となります。

車の座席に座ることができる3歳以上の園児で、保護者がJR古河駅から電車で通勤をする人が対象です。

【子ども入園課】

(仮称)駅東小規模保育所が オープンします



小規模保育所は定員19人以下の施設で、保育の対象は0・1・2歳児です。

市では待機児童が0・1・2歳児に集中していることから、待機児童解消のために市が第二保育所の隣りに所有している建物の1階を小規模保育所として整備しています。

施設は市が整備し、(一財)古河市子ども・子育て支援財団が設置者として施設を借りて事業を行い、12月1日にオープンします。詳しくは、市広報・市公式ホームページをご覧ください。

【子ども入園課】



秋を彩る
古河のイベント

食欲の秋

芸術の秋

運動の秋

古河関東 ド・マンナカ祭り

10月8日・9日、中央運動公園で「第18回古河関東ド・マンナカ祭り」が行われました。時折雨が降る天候でしたが、2日間で約15万人が来場。初日は曇り空を吹き飛ばすような華麗なダンスや各種イベントステージ、平成31年開催の国体PRとして少林寺拳法の演武、2日目は「民俗芸能のつどい」として御輿や山車が集結してお囃子や神楽・ささらなどが披露されました。

また、会場には所狭しとテントが並び、市内の事業所など模擬店が100店以上出店。両手いっぱい買い物袋を下げた人や、休憩スペースで飲食を楽しむ人の姿も多く見られました。

【写真①～⑤】





古河ふれあい 広場 2016

9月24日、ネーブルパークで「古河ふれあい広場2016」が開催されました。テーマは「ひろげよう みんなの輪 ところの和」。子どもから高齢者、障がいのある人やボランティアが一堂に集うこのイベントには、親子連れなど約5,000人が来場しました。

市内の福祉を支えるさまざまな団体が、人と人との絆の大切さ、福祉の輪の大切さを呼びかけ、福祉への理解を深めようと多彩なイベントを展開。模擬店では手作りの手工芸品や飲食物の販売、体験コーナーでは手話や点字の体験、ステージ発表では15団体がダンスや太鼓の演奏を披露しました。【写真⑥～⑧】

9月10日から12月18日まで約3カ月間、市内各会場で「古河市民文化祭」が開催中です。

各地区の総合展には、絵画・書・写真・華道・手工芸など多彩な力作がずらり。また、コーラスや唄・踊りの発表など、白頃の活動の成果が披露され、磨き上げた技術と一体感で来場者を魅了しました。

文化の華が美しく咲き誇っている「古河市民文化祭」。皆さんも芸術文化に触れて、何かを始めてみませんか。【写真⑨～⑫】

古河市民文化祭





タウンミーティングを開催しました

～市と地域の未来を考える懇談会～

市民によるまちづくりの推進を目的として、市長をはじめとする市執行部が地域に向き、直接市民と意見交換を行う「タウンミーティング」を、7月13日から8月31日まで開催しました。多くの皆さんが参加し、地域の課題や現状について貴重なご意見、ご提言をいただきました。

今後も市民の皆さんからいただいた意見等を参考にしながら「市民が主役のまちづくり」に取り組んでいきます。

【問】市民協働課（総和庁舎） ☎92-3111

■実施概要

開催期間 7月13日～8月31日

※行政自治会の地区ごとに全20回開催。

参加者数 1,292人

■質問事項

質問件数 489件

（事前質問 293件、当日質問 196件）

質問内容の主な内訳		
件数	内容	
環境安全	210件	防災、空き地・空き家対策 交通安全対策、公共交通整備
建設	178件	道路・公園整備 雨水排水対策
市民サービス	42件	自治組織・コミュニティの維持
教育	37件	通学路の安全対策 教育環境の充実
文化スポーツ	18件	施設・イベント内容の改善
健康福祉	17件	医療・福祉の充実 保健事業の拡充
上下水道	14件	上下水道・農業集落排水整備
産業	8件	イベント内容の改善 企業誘致
その他	34件	
合計	558件	

※1つの質問で複数分野にかかるものがあるため、合計の数と質問件数は一致しません。

※上記質問の回答については、市公式ホームページに掲載します。

開催中に多く寄せられた 質問と回答を紹介します



～太陽光パネル～

Q

最近、太陽光パネルの設置が目立つが、設置の規制はないのか。

A

申請上問題がなければ規制はありません。今後は、ガイドラインを定めて設置業者と協議していきます。

また、市には太陽光パネルに関する多くの相談が寄せられています。契約する際は十分ご注意ください。

～防災行政無線～

Q

防災行政無線から流れてくる声が聞きづらい。もっとよく聞こえるようにしてほしい。

A

「防災無線が聞こえなかった」「もう一度確認したい」といった場合に電話(フリーダイヤル ☎ 0120-940-122)で放送内容が確認できるようになりました。

アナウンスについても、より明確に情報を伝えるよう努力していきます。

～防犯カメラ～

Q

犯罪を未然に防ぐために、防犯カメラを設置してほしい。

A

平成27年度から3カ年で100基設置する予定です。昨年度は市内小中学校を中心に40基設置しました。

平成28・29年度は古河警察署と協議しながら、犯罪発生のおそれや不審者の出没情報がある場所などに60基を設置する予定です。

～災害発生時の対応や備え～

Q

市や行政自治会、個人が命を守るために何をし、何を準備すべきか。組織的な役割を明らかにし、自らが行動する形を作りあげていくべきではないか。

A

地域の皆さんのご協力をいただきながら、スムーズに避難所を開設・運営し、避難者のニーズに^{こた}えられる避難所運営が可能であると考えています。

現在自治会長・行政区長へのアンケートを行い、その検討を進めているところです。

また、災害時の各種マニュアルの見直しも行うとともに、より実効性を高めるため、今後も避難所訓練や参集訓練、啓発活動を実施する予定です。

Q

集中豪雨等で避難指示があった場合、近くの学校へ避難できるのか。

A

学校や社会教育施設を避難所・緊急避難場所に指定しています。お近くの学校への避難も可能ですが、2階以上の高層階が緊急避難場所となっている施設もありますのでご注意ください。

なお、いざというとき速やかに避難できるよう、日ごろから家族や地域で避難経路などの確認をお願いします。

●避難所…災害により家に居られなくなった住民等を滞在させるための施設

●緊急避難場所…地震や風水害などの災害による危険から逃れるため、一時的に避難する場所

災害対策の取り組みを紹介します

近年、全国各地で局地的な大雨や巨大地震の発生が相次いでいます。

昨年9月に発生した「関東・東北豪雨」では、市内全域に茨城県初の「大雨特別警報」が発令。道路の冠水や住宅・農作物への浸水など、多くの被害を受けました。

市では現在、避難所のあり方やマニュアルの見直しなどを進めています。今回は、取り組みの一部を紹介します。

【問】危機管理課、防災交通課(総和庁舎) ☎92-3111

避難所開設・運営訓練を実施

9月26日・27日、はなももプラザ(地域交流センター)で「避難所開設・運営訓練」を開催。地域住民や市議会議員、市職員など約120人が参加しました。

NPO法人茨城県防災士会による講話を聴いた後、参加者は実際の避難を想定しながらグループごとに避難所のレイアウトについて話し合い、成果を発表。その後、防災士の解説を受けながら、多目的ホールに段ボールを敷き、宿泊体験を行いました。

また、4月に発生した熊本地震の被災地へ派遣された市職員や古河保健所職員による講演も行われ、災害時の注意点や被災者と接する際の心構えなどを学びました。



◀さまざまな避難所レイアウトを発表

▶段ボールベッドの高さや安定性を確かめる参加者



気象観測装置「POTEKA」を設置

市内の気象情報を独自に収集できる気象観測装置「POTEKA」を設置しました。

収集した情報はインターネット「POTEKANET」(<http://www.potekanet.com/>)を通じて、いつでも・誰でも・リアルタイム・ピンポイントで取得できます。防災対策をはじめ、熱中症予防やお出かけの際の天候確認などにも活用できます。ぜひ、ご利用ください。

設置場所

- ・市役所総和庁舎
- ・市役所古河庁舎
- ・市役所三和庁舎
- ・小堤小学校



洪水浸水域説明会を開催

9月から11月にかけて、市内7つの地区で「洪水・道路冠水ハザードマップ説明会」を開催しています。

お住まいの地区の予想浸水範囲などを確認のうえ、避難のタイミングや避難場所などをあらかじめ決めておきましょう。



市税の納め忘れは ありませんか？

市税は、市民の皆さんが安心して暮らしていくための貴重な財源です。多くの人が納期限までに納付されていますが、納付が遅れると財政運営に支障をきたすほか、きちんと納めた人との間に不公平が生じることになります。

大切な財源確保のため、納期限内の納付にご理解とご協力をお願いします。

【問】収納課(古河庁舎) ☎22-5111

～11月・12月は「徴収強化月間」です～

市では11月・12月を「徴収強化月間」とし、督促状や催告書を送付しても納付しない人や納税相談に応じない人、納付の約束を守らない人などに対して、滞納処分(財産の差し押さえ等)を集中的に進めます。納め忘れの人は、納付されますようお願いします。

※事情によりやむを得ず納期限内に納付できない人はご相談ください。

～財産差し押さえの例～

給与



勤務先に給与の支払い等の調査を行います。差し押さえた後、毎月の給与から差押禁止額を除いた金額を、滞納している税金に充当します。

預貯金



銀行・農協・郵便局等の金融機関に預貯金調査を行います。差し押さえた後、滞納している税金に充当します。

生命保険



生命保険会社に加入状況の調査を行います。差し押さえた後、解約し、解約返戻金^{へんれいきん}を滞納している税金に充当します。

不動産



市役所や法務局で所有状況の調査を行います。土地や家屋を差し押さえ、公売等で換価し、滞納している税金に充当します。

～納税相談のお知らせ～

通常の開庁時間のほかに、休日開庁および開庁時間の延長を行っています。

●休日開庁

日時 11月27日(日)、12月25日(日)
午前9時～正午、午後1時～4時

●開庁時間延長

日時 11月24日(木)・25日(金)・28日(月)～30日(水)
12月21日(水)・22日(木)・26日(月)～28日(水)
午後5時15分～7時30分

場所 市役所古河庁舎(1階) 収納課 ※庁舎北側入口よりお入りください。



古河市の財政状況

歳入 509 億 9,050 万円
(前年度比 0.7% 減)

市の財政は、皆さんが納める税金や国・県からの補助金、地方交付税などをもとに運営されています。

ここでは、私たちの住んでいる古河市の財政状況をお知らせします。

【問】財政課(総和庁舎) ☎92-3111

一般会計の概要

一般会計とは、教育や福祉、土木といった行政サービスの経費をまかなうための会計です。

歳入決算額は 509 億 9,050 万円、歳出決算額は 490 億 9,080 万円となり差引額は 18 億 9,970 万円となりました。この中には、翌年度に繰り越して行う事業の経費(4 億 9,195 万円)も含まれており、その分を差し引いた残りの 14 億 775 万円が古河市の実質的な収支(黒字)となっています。

分担金および負担金

4億9,303万円
1.0%

諸収入

11億7,239万円
2.3%

地方消費税交付金

24億6,807万円
4.8%

県支出金

32億8,184万円
6.4%

地方譲与税

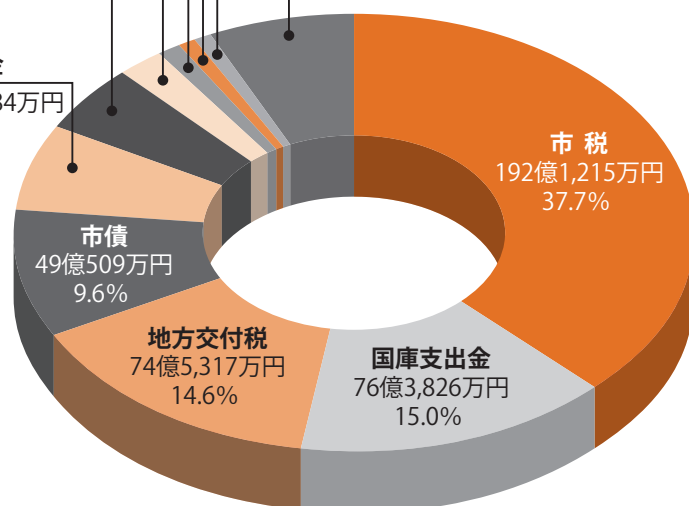
4億8,586万円 1.0%

繰入金

4億6,417万円 0.9%

その他

34億1,647万円 6.7%



固定資産税



55,035円

個人市民税



48,274円

法人市民税



12,129円

市民1人あたりの
市税

133,082円

たばこ税



8,348円

都市計画税



7,266円

軽自動車税



2,030円

※一般会計の歳入額(市税)・歳出額(全体)をもとに、平成28年4月1日現在の人口(14万4,363人)で計算。

用語解説

市税：市民税（個人・法人）や固定資産税など
国庫支出金・県支出金：特定の事業に対する国・県からの補助金

地方交付税：財政状況に応じて国から交付されるお金

市債：国や銀行などからの借入金

地方消費税交付金：地方消費税を財源として、人口などに応じて県から配分されるお金

諸収入：ほかの項目に分類されない収入

分担金・負担金：保育園の保育料など

地方譲与税：地方道路譲与税、自動車重量譲与税など

繰入金：一般会計、特別会計、基金の間で相互に資金運用するもの

その他：使用料、手数料、前年度からの繰越金など

民生費：保育園や障がい者、高齢者など福祉の経費
教育費：小・中学校の運営や、市民の学習・文化活動の経費

公債費：借入金の返済のための経費

総務費：市の全体的な管理事務の経費

土木費：道路、河川、公園などの整備・維持管理経費

衛生費：ごみ処理や病気の予防などの経費

消防費：消防や救急活動、防災関係の経費

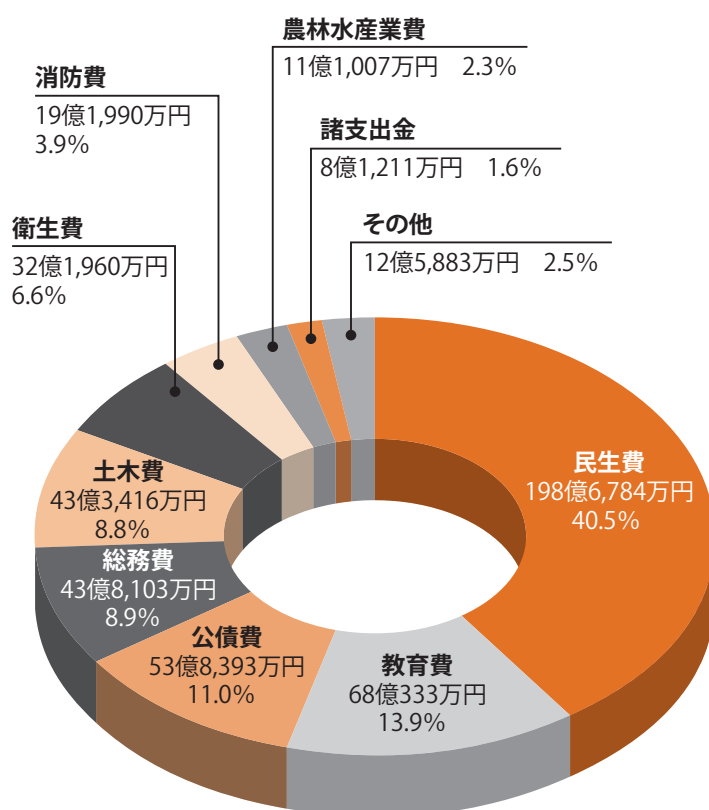
諸支出金：基金への積み立ての経費

その他：商工費、議会費など

※公債費、諸支出金以外の経費については、それぞれ職員人件費を含みます。

歳出 490 億 9,080 万円

（前年度比 0.2% 増）



市民1人あたりに
使われたお金

340,051円

民生費



137,624円

教育費



47,127円

公債費



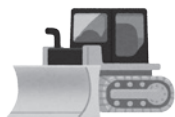
37,294円

総務費



30,347円

土木費



30,023円

衛生費



22,302円

消防費



13,299円

その他



22,035円

特別会計の概要

特別会計(12会計)の決算額を合計すると、歳入が354億6,415万円で、前年度と比べて32億4,431万円(10.07%)の増加となり、歳出が349億9,242万円で前年度と比べて32億6,838万円(10.30%)の増加となりました。

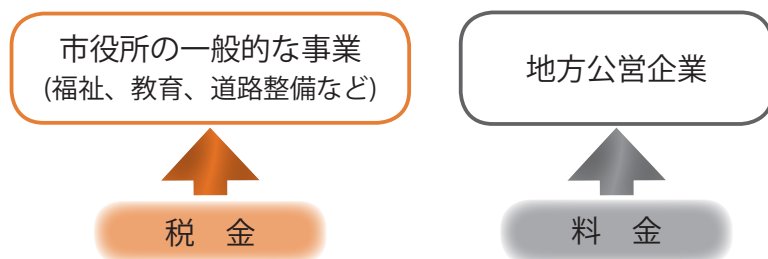
歳出決算の主な増減は、国民健康保険(事業勘定)が31億7,000万円、介護保険(保険事業勘定)が約6億1,500万円、農業集落排水事業が約1億100万円の増加、古河駅東部土地区画整理事業が約3億1,100万円、公共下水道事業が約2億1,800万円、片田南西部土地区画整理事業が約9,900万円の減少となりました。

区分	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険(事業勘定)	193億6,062万円	192億9,543万円	6,519万円
国民健康保険(直診勘定)	5,843万円	5,458万円	385万円
古河福祉の森診療所	1億6,637万円	1億5,210万円	1,427万円
後期高齢者医療	11億2,013万円	11億1,605万円	408万円
介護保険(保険事業勘定)	91億4,618万円	89億9,332万円	1億5,286万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	5,296万円	5,117万円	179万円
公共下水道事業	38億3,018万円	36億9,059万円	1億3,959万円
農業集落排水事業	7億4,369万円	7億1,678万円	2,691万円
ゴルフ場事業	1億3,117万円	1億2,541万円	576万円
古河駅東部土地区画整理事業	5億922万円	4億8,428万円	2,494万円
片田南西部土地区画整理事業	1億4,910万円	1億1,661万円	3,249万円
公共用地先行取得	1億9,610万円	1億9,610万円	—
合計	354億6,415万円	349億9,242万円	4億7,173万円

水道事業会計の概要

水道事業は法律において「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則としてお客さまからいただく水道料金などの収入でまかなう「独立採算の原則」に基づき運営されています。

【問】水道課(三和庁舎) ☎76-1511



●主要事業

- 思川浄水場…ろ過池ろ材入替工事
- 古河浄水場…ろ過池ろ材入替工事
- 配水管整備…未普及地域への拡張工事
- 石綿セメント管の布設替工事

●業務概要

給水人口	13万8,092人
普及率	93.9%
年間総給水量	1,613万8,151m ³
1日最大給水量	4万7,851m ³

※古河市給水区域に野木町大字野木、大字野渡が含まれています。

●決算

水道水をつくるための予算 (消費税等抜)	
収益的収入	24億6,928万円
収益的支出	20億5,185万円
(収支差額)	4億1,743万円
水道施設を整備するための予算 (消費税等込)	
資本的収入	5,369万円
資本的支出	9億3,731万円
(収支差額)	△8億8,362万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成27年度に 実施した事業

平成27年度に実施した事業の一部を紹介します。

●子育て支援

- ・古河駅西口前に「駅前子育て広場」オープン
- ・児童クラブの整備(古河第二小、古河第四小)
- ・児童発達支援センター「ぐるんぱ」開所
- ・不妊治療費の助成
- ・小児用インフルエンザ予防接種の助成
- ・医療費助成の拡大(20歳の学生まで対象)

●教育環境の向上

- ・古河塾による学習環境の提供(全小中学校)
- ・小学校ICT活用授業の推進
- ・屋内運動場の改築(古河第一小、古河第二小)
- ・学校施設(吊り天井等)の耐震対策
- ・学習環境等の向上(空調設備設置、トイレ改修)

●定住・雇用の促進

- ・企業誘致の推進(企業立地促進奨励金交付等)
- ・若者、子育て世帯への定住促進奨励金交付

●防犯・防災対策

- ・防犯カメラの設置
- ・防犯灯整備の充実
- ・防災行政無線の整備



▲「駅前子育て広場」は「駅前ヤンチャ森」として今年7月にリニューアルオープンしています



▲古河第一小学校の屋内運動場(平成28年3月完成)



▲平成27年度の若者・子育て世帯定住促進奨励金の交付実績は149件



事業評価を実施しました

市では、平成27年度に行った事業を対象とした事業評価を実施しました。評価にあたっては、各担当部署において事業の目的や効果の達成状況をもとに数値指標を設定して評価を行いました。

評価結果は、市公式ホームページおよび右記の市内各施設でご覧になれます。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

■『事業評価書』を閲覧できる施設

【古河地区】古河庁舎市民総合窓口室
古河東公民館、中田公民館
はなももプラザ(地域交流センター)

【総和地区】総和庁舎企画課
ユースセンター総和
とねミドリ館(生涯学習センター総和)

【三和地区】三和庁舎市民総合窓口室
さん
燦SUN館(三和図書館資料館)

財政指標を公表します

地方自治体の財政状況を知るための指標に「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。これらの財政指標は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、住民に公表することが義務付けられています。

古河市の平成27年度決算に係る「健全化判断比率」と「資金不足比率」は下表のとおりとなりました。

		早期健全化基準		財政再生基準	
		健全	早期健全化団体	財政再生団体	
健全化判断比率	実質赤字比率	古河市 ⇒赤字なし	11.81%を超えると	20%を超えると	
	連結実質赤字比率	古河市 ⇒赤字なし	16.81%を超えると	30%を超えると	
	実質公債費比率	古河市 ⇒8.4%	25%を超えると	35%を超えると	
	将来負担比率	古河市 ⇒93.1%	350%を超えると		

※実質赤字比率・・・一般会計等の赤字の程度を示す指標です。
 ※連結実質赤字比率・・・公営企業なども含めた市全体の赤字の程度を示す指標です。

		健全	経営健全化団体
資金不足比率		- 水道事業 - 公共下水道事業 - 農業集落排水事業 - ゴルフ場事業 ⇒資金不足なし	20%を超えると

健全財政 ← 財政悪化

古河市の指標は、すべて国の基準で「健全」とされる範囲内です



※「健全化判断比率」4つの指標のうち1つでも「早期健全化基準」を上回ると、市の財政状況は黄信号と判断され、「早期健全化団体」となります。さらに「財政再生基準」を上回ると赤信号となり、財政運営にあたり国の指導を受ける「財政再生団体」となります。



基金残高

基金名	平成27年度末
財政調整基金	34億2,156万円
減債基金	8億1,330万円
合併特例振興基金	12億654万円
自治振興基金	6億5,469万円
企業立地調整基金	5億2,386万円
公共施設整備基金	2億9,330万円
その他	11億5,524万円
合計	80億6,849万円



借入金残高

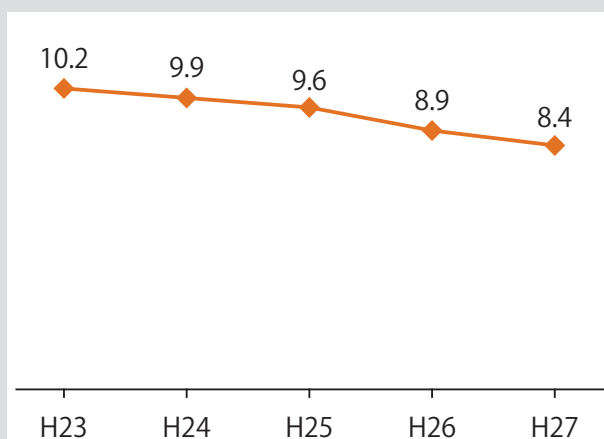
会計区分		平成 27 年度末
一般会計		620 億 2,714 万円
特別会計	公共下水道事業	172 億 1,853 万円
	農業集落排水事業	47 億 7,215 万円
	古河駅東部土地地区画整理事業	17 億 5,704 万円
	片田南西部土地地区画整理事業	6 億 7,480 万円
	公共用地先行取得事業	7 億 128 万円
	小計	251 億 2,380 万円
水道事業		66 億 8,907 万円
合計		938 億 4,002 万円

※四捨五入の関係上、各会計の足しあげ額と合計額が一致しません。

●実質公債費比率

借金返済の負担が大きすぎないかをチェックする指標。市税や地方交付税のような使い道が自由で毎年入ってくる収入のうち、公債費(借金返済額)の割合を表したものです。数値が小さいほど負担が軽いということになります。

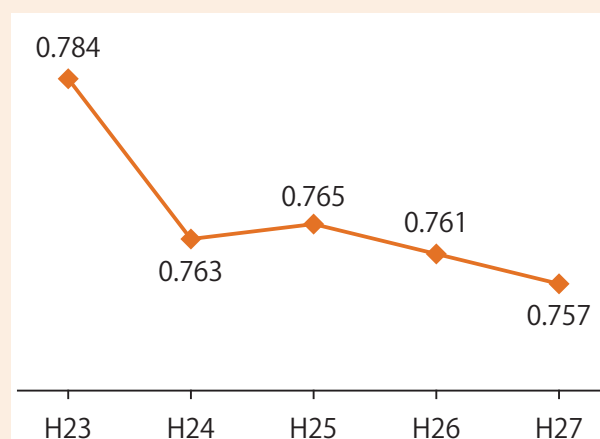
H26 8.9 ⇒ H27 8.4



●財政力指数

財政力の強弱を示す指標で、毎年の行政活動に必要なお金をどのくらい自治体が自力で調達できるかを表したものです。数値が大きいほど自主財源の割合が高く、財政力が強い自治体ということになります。

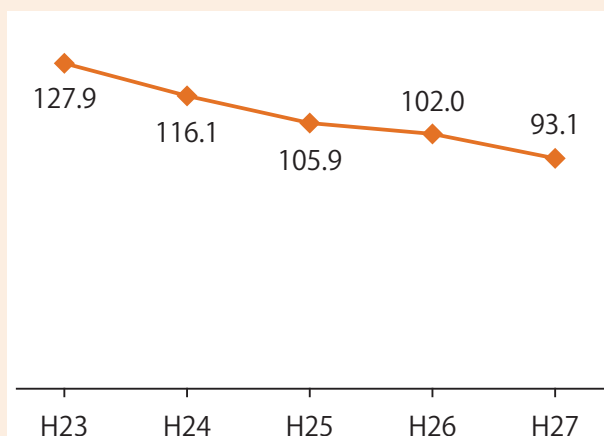
H26 0.761 ⇒ H27 0.757



●将来負担比率

古河市が借り入れた地方債、契約で損失補償を約束しているものや将来支払う必要があるものなどが、市の財政規模の何倍あるのかを表したものです。数値が小さいほど財政に弾力性がある自治体ということになります。

H26 102.0 ⇒ H27 93.1



●経常収支比率

市税や地方交付税のような使い道が自由で毎年入ってくる収入のうち、人件費や扶助費、公債費といった毎年必ず支出しなければならない経費の割合を表したものです。数値が小さいほど財政に弾力性がある自治体ということになります。

H26 89.6 ⇒ H27 87.8





11月は児童虐待防止推進月間です



オレンジリボンには
子ども虐待を防止するという
メッセージが込められています。



子どもを守るべき立場にある保護者や養育者が、子どもに虐待を加え、命さえも奪ってしまうという痛ましい事件が後を絶ちません。

11月は、厚生労働省、内閣府が提唱する「児童虐待防止推進月間」です。

児童虐待によって、かけがえのない命が失われることのないよう、「児童虐待かも？」と気づいたら、迷わず相談や通告をお願いします。^{とくめい}匿名でもかまいません。相談や通告をした人のプライバシーは保護されます。

【問】子育て支援課(総和庁舎) ☎92-3111

児童虐待とは…

身体的虐待

なく殴る、蹴る、^け叩く、^{たた}投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、^{おほ}溺れさせる など

性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

心理的虐待

言葉による^{おど}脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など



市イベント等でオレンジリボン運動の啓発活動を行っています



周りの人が虐待に気づくきっかけ

子どもの様子

- ・いつも子どもの泣き叫ぶ声や保護者の怒鳴っている声が聞こえる
- ・不自然な外傷(あざ、打撲、やけど)などが見られる
- ・極端な栄養障害や発育の遅れが見られる
- ・衣服や身体が極端に不潔である
- ・食事に異常な執着を示す
- ・ひどく落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
- ・表情が乏しく活気がない(無表情)
- ・態度がおどおどしており、親や大人の顔をうかがったり、親を避けようとしたりする
- ・誰かれなく大人に甘え、警戒心が薄い
- ・夜遅くまで遊んだり、徘徊したりしている
- ・家に帰りたがらない

親の様子

- ・地域や親族などと交流がなく、孤立している
- ・小さい子どもを家に置いたまま、よく外出している
- ・子どもの養育に関して拒否的、無関心である
- ・子どもを甘やかすのはよくないと強調する
- ・子どもに対して拒否的な発言をする
- ・気分の変動が激しく、子どもや他人にかんしゃくを爆発させることが多い
- ・子どもがケガをしたり、病気になっても医者に診せようとししない
- ・子どものケガについて不自然な説明をする

「虐待かも」と思ったらすぐにお電話ください
あなたの1本のお電話で救われる子どもがいます



【QRコード】



お住まいの地域の児童相談所につながります。 ※一部のIP電話からはつながりません。
※通話料がかかります。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や内容に関する秘密は守られます

もしくは

- 市役所子育て支援課(総和庁舎) ☎92-3111 (平日：午前8時30分～午後5時15分)
- 古河警察署(生活安全課) ☎30-0110
- 筑西児童相談所 ☎0296-24-1614 (平日：午前8時30分～午後5時)
- いばらき虐待ホットライン ☎0293-22-0293 (24時間対応)

住み慣れた地域での 生活を支える在宅医療

在宅医療とは、通院による療養が困難な人を対象に、自宅などで行う医療のことです。医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリなどの専門職が在宅医療を提供し、ケアマネジャーやホームヘルパーなどの介護の専門職とも連携しながら、在宅での生活を支えます。

住み慣れた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けていくために、市でも仕組みづくりのための取り組みを始めています。

【問】高齢者サポートセンター総和(総和福祉センター「健康の駅」) ☎92-5920



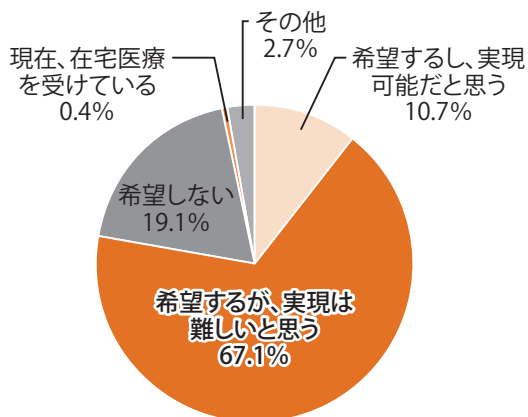
▲今年1月に開催された、在宅医療・介護連携推進講演会

在宅医療と介護に関する実態調査から見えること

市では、昨年9月に市民向けの調査を実施しました。この調査から、多くの市民が「在宅医療を受けながら最期は自宅で迎えたい」と希望しているものの、家族の肉体的・精神的負担への配慮やさまざまな側面から、その実現は難しいと感じていることが分かりました。

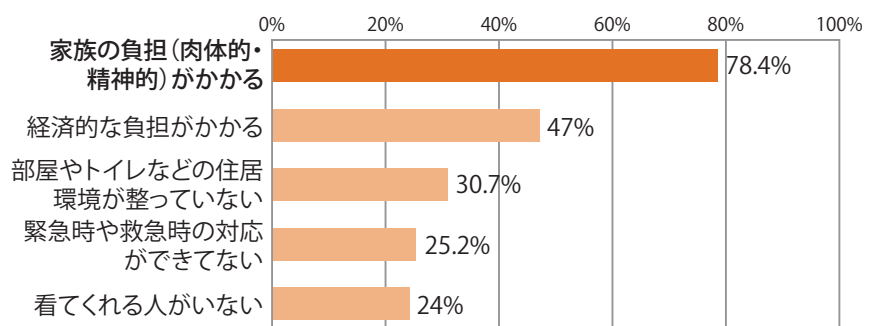
在宅医療と介護に関する実態調査結果(一部抜粋) ※平成27年9月、市民3,500人を対象に実施。

●脳卒中やがんなどで長期治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか。



約8割が在宅医療を希望していても、そのほとんどの人が、実現が難しいと思っているようです

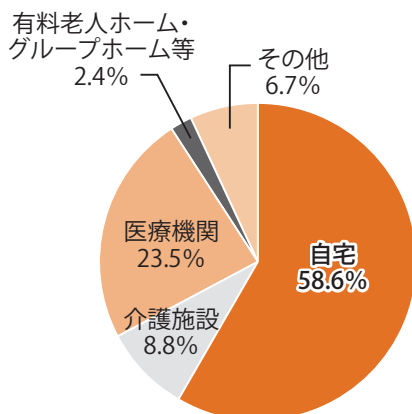
●在宅医療を希望しない、または希望するが実現は難しいと思う理由はなんですか。



(複数回答あり・上位5項目抜粋)

在宅医療を選んだら、家族への負担が心配…

●将来、人生の最期を迎える場所として、希望する場所はどこですか。



自宅を希望する人の多くが、「住み慣れた居住の場がいい」との理由でした。一方、「家族に迷惑がかかる」との理由で自宅を希望できない人もいます。

希望を叶えるために、みなさんができること

かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つ

市民向けの調査では、かかりつけ医がある人は約5割でした。かかりつけ医は、日頃からの健康状態をもとに、生活に根差した治療や適切な専門医の紹介、医療・介護の連携役となって在宅生活を支えてくれる大切な存在です。

また同調査で、かかりつけ薬局がある人は約3割にとどまりました。飲み合わせなど適切な薬の使用について相談ができるので、薬局もかかりつけを決めることをお勧めします。



在宅医療と介護のサービスを知る

いざというときに備え、在宅医療と介護のサービスについて知ることも大切です。市では、講演会や講座を開催しています。

また、市内の医療と介護の関係機関やサービスを記した「在宅医療・介護連携のための市民向けマップ【医療編】【介護編】」を作成し、高齢者サポートセンター等での配布、市公式ホームページへの掲載を行っています。

在宅医療や介護について困ったときは、高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)をご活用ください。



▲市民向けに配布している、在宅医療と介護マップ

人生の最期をどう生きるかを考える

自分にふさわしい生き方、最期の迎え方、そのための準備などを考え、家族などとよく話し合い、みんなの気持ちをひとつにしておくことが大切です。医療と介護の関係者は、その望みに寄り添い、一緒に在宅生活を支えます。



▲市民向け講座「人生の最期まで自分らしく生きるために」



▲ワイルドダッシュⅡ(8月、磐梯青少年交流の家)

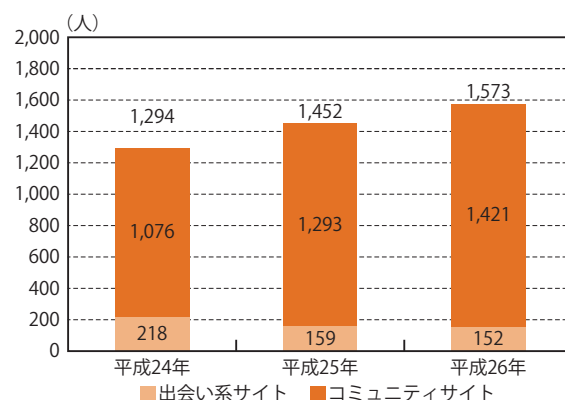
子ども・若者は、家族や社会にとって、大きな可能性を秘めたかけがえのない存在です。能力や生まれ育った環境の違いを超えて、一人ひとりが身近な愛情に包まれながら、社会との関わりの中で自立した個人として健やかに成長し、他者と協働しながら明るい未来を切り拓くことが求められています。

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」。家庭・地域・学校が連携して、青少年の健全育成に取り組んでいきましょう。

【問】生涯学習課(古河庁舎) ☎22-5111

あなたの家庭は大丈夫？ 子どものネット犯罪被害

中学生の約5割、高校生の9割以上が携帯電話やスマートフォンを持っている現在。気軽にインターネットを利用できる反面、重大で悪質な犯罪被害に遭う子どもは少なくありません。



▲被害児童数の推移(政府広報オンラインをもとに作成)

主な事例

- ① 出会い系サイトを通じた犯罪
⇒ 強盗、誘拐、恐喝、詐欺など
- ② コミュニティサイトを悪用した犯罪
⇒ 児童買春・児童ポルノなど
- ③ 子ども自身が加害者となる犯罪
⇒ 著作権法違反、詐欺、ネット内いじめ、威力業務妨害など

家庭での ルール作りを

コミュニティサイトに係る犯罪被害に遭った子どものうち、5割以上が保護者から、注意や指導を何も受けていなかったと回答しています。

交通ルールを知り守るのと同様に、日ごろからインターネットの危険性を認識し、適切な使い方を親子でしっかり話し合しましょう。

ご存じですか？

「こどもを守る110番の家」

「こどもを守る110番の家」は、地域の子どもたちの緊急避難場所。不審な人に遭遇したり声をかけられたりしたときや、事故・病気の際に、児童・生徒を保護するとともに、保護者や警察へ通報します。

ご協力いただいている一般の家庭やお店などに、カンガルーが目印のステッカーが貼ってあります。通学路や普段よく通る道でご確認ください。



◀このステッカーが目印です



青少年に見せたくない雑誌等は
白ポストへ

古河市青少年センターでは、青少年健全育成に関する環境浄化活動の一環として、「白ポスト」を設置しています。

「白ポスト」とは、家に持ち帰れないような有害図書・ビデオ・DVD等を回収するために設置された鉄製の白いポストです。

現在、JR古河駅西口と市役所古河庁舎駐車場脇の2カ所に設置してありますので、ご利用ください。



青少年電話相談

悩んだときは電話・メールを！

- 学校のこと
- 家庭のこと
- 友だちのこと
- 異性関係のこと
- いじめや暴力のこと
- 気になること

相談日

月曜日～金曜日(年末年始、祝日を除く)

午前9時～正午、午後1時～4時

※時間外は留守番電話に切り替わります。

悩みは一人で抱えず
気軽に相談しよう

☎0120-783747

✉soudan@city.ibaraki-koga.lg.jp



▲安全で安心な古河花火大会を運営するため、警察署、消防署などの協力をいただきました

「カウントダウンがはじまります。会場みなさんも、一緒におねがいします」

「それでは、10、9、8……ゼロ。スタート！」

ヒュルルルルルルルルルル、ドォン、パッパッ。パッパッパッパッ。渡良瀬の中天に花火玉が一斉に炸裂。古河花火大会がはじまった。名のある花火師の力作が次々と披露され、あたたかも空中絵巻をみているようだ。光と音楽の共演に酔いしれる大観衆。熱気と興奮に包まれながら、真夏の夜の祭典は次第に佳境に入っていた。

古河花火大会をインターネットで検索すると、打ち上げ数が「日本で二番目(2万5000発)」とある。観客数

約55万人。久喜市や小山市まで、ホテルの予約がいっぱいになるとか。

古河市と関係の深い国・県の担当職員をはじめ、姉妹都市や交流都市のみなさんも観客席に多数いらつしやる。

「すごい！来てよかった」「これだけの花火は観られない」「ワイドスターマインに感激。闇を彩る芸術だ」などと感動の声。

「美しすぎて涙が止まりません。故郷の海や山河が眼に浮かんでしまつて。本当にありがとうございます」。

炎天下の警察官

いまだ市内で避難生活を余儀なくされる福島県からの被災者の、古河花火大会「ご招待」への感謝の言葉だ。

合併後の古河市は、四季を通してイベントが目白押しだ。野外で快適に過ごせる春秋のシーズンが特に多い。それだけに実行委員やボランティアの苦労が絶えない。

ときには警察官や消防署(団)員まで多数動員されることも。

花火大会当日は、昼も夜も会場周辺

が大渋滞になる。特設駐車場から会場まで歩く道のりは意外と長い。

炎天下。風景が光を反射して眩しい。直射日光と放射熱とで頭がボーッとなりそう。

警察官が額に汗してあちこちに立っている。人や車を誘導しているのだ。いずれも表情がキリリとして動きにムダがない。

交通整理は拳銃を携帯しなくてもいいので、さぞかし夏服は着心地が良いのだろうと署長に尋ねたら、シロウトの思慮の浅さを知り恥ずかしくなつた。

「もしもの場合に備えて、全員が制服の上に防刃チョッキを着けています」「夏は防刃チョッキ(中の鉄板)が熱せられるのできわめて暑く、冬は鉄板が冷えて寒さが一段と身にしみます」との説明。

路上の警察官にふたたび視線が戻り、アタマが自然に下がってしまった。



古河市長
菅谷 憲一郎

注目！ まちの話題



アニメーター
世界観に浸る
浅野恭司さんの

古河大使でアニメーターの浅野恭司さんと、浅野さんが所属するアニメ制作会社「WIT STUDIO」による原画展が9月17日～25日、古河歴史博物館と古河街角美術館で開催されました。

今年で4回目となる原画展には、オリジナル原画やフィギュアなど512点を展示。遠方からも多くのファンが駆けつけ、期間中約4,000人が来場しました。浅野さんのサイン会やトークショーなどのイベントも開催され、連日にぎわいをみせていました。



▲テレビアニメ「進撃の巨人」「PSYCHO-PASS サイコパス」のキャラクターデザインで知られる浅野恭司さんの原画展は連日盛況



～古河市民大学オープン～
学ぶあなたを応援します



▲防災訓練のひとつであるDIG。講師のNPO法人茨城県防災士会のメンバーが熱心に指導を行いました

地域に根差した学びの場として「古河市民大学」が10月1日にオープンしました。それを記念して「防災・減災」をテーマに基調講演や非常食試食体験、災害時図上訓練(DIG)が行われ、80人が受講しました。

地図を使って減災対策を検討するDIGでは、参加者がグループに分かれて市内の大きな地図を囲み、公共施設や避難場所、河川や地域の危険な場所を地図上に書き込んで地域の状況を確認。避難経路や防災拠点の配置状況等を確認することで、事前対策や対応について学びました。



祝・優勝！
消防ポンプ操法競技大会で快挙



▲優勝した選拔選手(右から路川一弘さん、久保和弘さん、清水祐一さん、清水衛さん、山中和幸さん、上野洋二さん)

10月16日、フィットネスパーク・きぬ(下妻市)で行われた「第67回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会」で、古河市消防団が優勝しました。

この大会には、県西地区7市3町の10チームが出場。古河市から出場した第25・26・27分団の選拔選手6人は、指揮者の号令に従いポンプ車の操作やホースの延長、放水など、一つひとつの動作をすばやく確実にこなし、長期間、練習を重ねてきた成果を存分に発揮。平成17年の合併後、初めての優勝に喜びをかみしめていました。

キラリ！ 輝く人だち

今年も高校球児の熱戦が繰り広げられた夏の甲子園。8月7日から開催された第98回全国高等学校野球選手権大会に茨城県代表として出場した常総学院高等学校(土浦市)の主将・中村迅さんは、名崎小学校・三和東中学校出身の遊撃手です。

10月の昼下がり、中村さんに甲子園出場までの苦労や思いなどをうかがいました。

地元・茨城の学校で勝負したい

父の影響で小学1年生から野球を始めた中村さん。小学時代は地元の名崎ヤンキース、中学時代は常総リトルシニアに所属。めきめきと実力をつけ、次第に甲子園でプレーすることが憧れから目標に変わっていき「地元・茨城から全国を目指したい」と、迷わず常総学院の門を叩きました。

度重なる苦難を乗り越えて

全国屈指の強豪校の練習は想像以上に厳しいものでしたが、持ち前の明るさと負けん気で、無我夢中で練習に食らいつきました。試合でも結果を残しチームの柱に成長。2年生の秋には主将に抜擢されました。

強い決意で臨んだ茨城県大会。チームは準優勝し関東大会出場を決めたものの、中村さんは打撃成績が振るわず、主将の座を明け渡すことになりました。「とても悔しかったです。もっと練習しなければと思いました」と苦い経験を振り返ります。

野球人生最大の挫折を味わいましたが、「このままではいけない」と奮い立ち、一から鍛え直した中村さん。数えきれないほど素振りやノックを行い、誰よりも声を出してチームを盛り上げました。その結果、チームの士気は高まり関東大会では準優勝。センバツ出場を果たし、中村さんは再び主将を任されました。

「野球を通して成長できた」

第98回全国高等学校野球選手権大会 ベスト8

なかむら じん
中村 迅さん(17歳・常総学院高校3年・尾崎)



感謝の気持ちを胸に、これからも

センバツ出場の勢いをそのままに、甲子園に帰ってきた常総ナイン。「伸び伸びとやろう」「夏こそやってやろう」。頼もしい主将の一言で一致団結したチームは、並み居る強豪校を次々と撃破。中村さんも打点を挙げるなど、攻守にわたり気迫のこもったプレーでチームをベスト8に導きました。

甲子園での激闘を終えて2カ月あまり。「歓声一つで流れが変わる独特の雰囲気の中で、最高の仲間とプレーできたことは誇りです」と振り返る中村さん。「何より野球を通して人として成長できたことは、最大の財産です。家族や監督、チームメイトに感謝の気持ちでいっぱいです」と話してくれました。

今後はプロ野球選手を目指して大学でも野球を続けるという中村さん。将来が楽しみで仕方ありません。



キラリ！と光る中村さんの全力プレーは、多くの人に感動や勇気を与えました。中村選手、ますますの活躍を期待しています！

図書館のオススメ

【一般書】

○ポーラースター

海堂尊 著

医学生ゲバラは友人ピョートルとオンボロバイクにまたがり、南米大陸を駆け巡る……。ゲバラ、キューバ革命、ラテンアメリカを書き尽くす4部作の第1弾。「オール讀物」「野性時代」連載を加筆・修正。

出版社…文藝春秋

分類…Fカ



とねミドリ館

(生涯学習センター総和)

【児童書】

○すごい動物大図鑑

下戸猩猩 監修

コアラは毒の葉を食べる？
コウテイペンギンの子育ては世界一たいへん？ 世界中から集めた、おもしろい姿や変わった生態をもつ動物(哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類)を、迫力のあ

る写真とともに紹介します。

出版社…高橋書店

分類…480

【絵本】

○どもるどだっく

高山なおみ 文

中野真典 絵

花の芯、鉄棒、地面、猫の口
のにおい……。何でもなめて、
触って、嗅いで、全身で感じた
ことをいっぱい伝えたい！
子どもの中の強烈な野性をとら
えた、人気料理家・高山なおみ
の自伝的絵本。

出版社…ブロンズ新社

分類…Eド

○しかえししないよ

日野原重明 詩

こんな時代だからこそ、伝えたい。いじめや戦争で揺れる子どもの心と生老病死を表現した医師・日野原重明の詩に、いわさきちひろの珠玉の作品をつけた美しい詩画集。

出版社…朝日新聞出版

分類…911ヒ



～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「みんなが楽しく働ける環境づくり」

株式会社ギンビス 濱 亜希子 さん

ビスケット、チョコレート類、スナック等の製造・販売を行う(株)ギンビスで包装部に所属する濱さん。包装作業員への指示や、段ボールなど包装資材の在庫管理・発注事務をしています。

「女性社員が多く、何でも話せる」「先輩、後輩関係なく和気あいあいとしていて、プライベートでも食事に行くほど仲がいい」と楽しく働いている様子がうかがえました。

作業員に指示する立場として気を付けていることは、みんなが作業しやすい環境をつくること。特にお盆や年末年始は注文が多く、業務が忙しくなる中で指示しなければなりません。「普段からコミュニケーションをとったり、自ら作業に加わったりすることで、距離を縮め、言いづらいこと

でも気軽に言える環境にしています」と話してくれました。

音楽鑑賞が趣味だという濱さんは、ライブや野外フェスに行きエネルギーを補給。明るい雰囲気はこれが理由なのでしょう。入社後、ライン作業に携わって、半年もたたないうちに現在の業務を任された濱さん。新人のうちから現場を任されるということは、期待されている証。今後もおいしいお菓子を作ってほしいと思います。

■プロフィール

おすすめの商品は、
「カリッと枝豆」。
入社7年目、24歳。
西牛谷在住。



古河文化見聞録

日記が語る幕末・明治

諸川町組頭館野重左衛門の日記

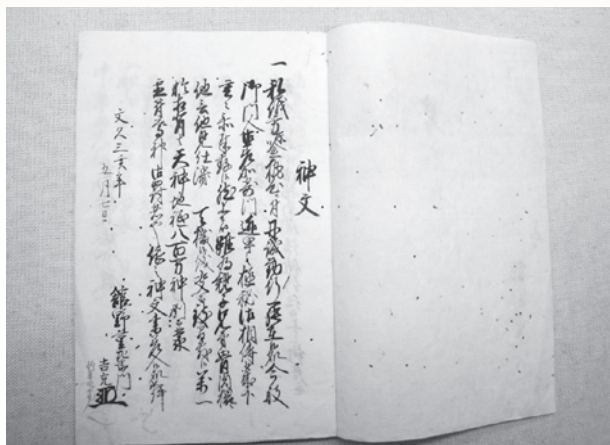
江戸時代、日光東街道の宿場町であった諸川町で、代々組頭を務めていた館野家には、嘉永5(1852)年から明治2(1869)年までの18年間、幕末から明治にかけて記された日記が残っています(安政2年の日記だけが欠失)。

これらの日記は、幕末期に重左衛門を継いだ茂助の日記で、1年ごとに1冊にまとめられています。内容は、館野家の日常の生活の様子が記されています。その日の天気、家族や奉公人たちの行動などが基本ですが、諸川町で起きた出来事なども時々記されています。

それでは、これらの日記の中を少しのぞいてみることにしましょう。

重左衛門「家相方位学」「砲術」を学ぶ

文久3(1863)年9月6日、諸川町名主中村三郎兵衛宅に昨日より沼森村(八千代町)の神官高橋上総介と菅谷村(八千代町)の元名主大久保七郎左衛門(七郎兵衛)が江戸に向かう途中で宿泊していました。重左衛門は三郎兵衛の



▲家相砲術門入控

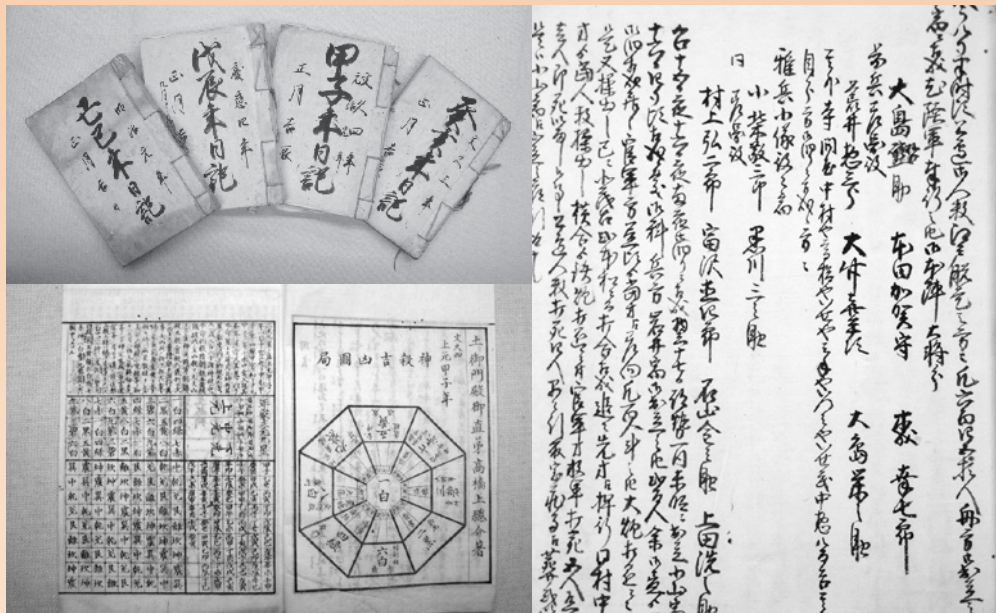
勧めで、「家相方位学」を高橋上総介に、「砲術」を大久保七郎左衛門に入門することになり、それぞれ神文・誓文に血判を押して差し入れ、金百疋ずつを差し出しています。

高橋上総介は土浦の国学者色川三中の門人で、家相方位学を修めていました。翌年3月の水戸藩尊王攘夷激派による筑波山挙兵(天狗党の乱)に父相模守と共に参加、軍資金集めに奔走し、下妻多宝院の夜襲に活躍しました。那珂湊の戦い以後、奥州に逃れて身を潜め、後に帰村して子弟の教育にあたりました。

大久保七郎左衛門も色川三中の門人で、号を真菅といい、嘉永6(1853)年6月にペリーが浦賀に来航すると、水戸藩の神発流砲術指南福地政次郎に入門し免許を取得しました。すでに菅谷村名主役は息子に譲っていました。翌年4月天狗党の乱に参加、大砲隊長兼武器奉行に任命され、以後行動を共にし転戦、9月に矢野下村(旧友部町)で自刃しました。

この日の入門の事実を裏付ける資料が残っています。「家相砲術門入控」で、重左衛門が高橋と大久保に差し入れた神文・誓文の控です。家相方位学の神文では極秘相伝の内容は親兄弟であっても他言他見しないことを神に誓っています。また、砲術の誓文は三カ条からなり、怠りなく修行に励むこと、公戦に用い私闘に用いないことのほかに、「海外之夷賊ヲ塵ニシ……」とあり、攘夷思想を盛り込んだものでした。重左衛門がこの時40歳であったこともわかります。

家相方位学関係では、重左衛門が高橋から授与されたものと思われる「神殺明覧」があります。これは文久4(元治元・1864)年の方吉位吉凶図を表わした版本で、「土御門殿御直弟高橋上総介著」とあります。



▲館野重左衛門の日記(一部) [左上]、高橋上総介著「神殺明覧」[左下]
慶応4年4月15日の日記 [右]

天狗党の乱と重左衛門

重左衛門が入門した高橋上総介と大久保七郎左衛門が参加した天狗党の乱(元治の内乱)は、元治元(文久4年2月に改元・1864)年3月27日、水戸藩の尊王攘夷激派が筑波山に挙兵したことにはじまります。

筑波山に挙兵した田丸稲之衛門を大將とした一行は、筑波山を下りて同志の多い宇都宮に向かいますが宇都宮藩に阻止され、つぎに日光に向かい東照宮参拝だけ許されましたが日光奉行に反対され、4月14日には太平山(栃木市)に陣を張り、そこで一行は軍資金集めに奔走しました。

日記の4月21日、重左衛門は中村三郎兵衛ほかと共に太平山参詣と称して七時半時(午後4時)頃出立し間々田宿本陣に宿泊、翌日に太平山に参詣し、栃木町の角屋に宿泊します。22日の記載の中に「但、山内にて高橋氏大久保氏へ千疋ずつ餞別差出候事」とあり、太平山内で師である高橋上総介と大久保七郎左衛門に会って、軍資金を献金していたことがわかります。

戊辰戦争と諸川町

慶応3(1867)年15代将軍徳川慶喜は朝廷に大政奉還し、江戸幕府の政治支配は終わることになります。翌慶応4(明治元・1868)年1月、京都南方の鳥羽・伏見で幕府軍と討幕軍が衝突し(鳥羽・伏見の戦い)、戊辰戦争が始

まりました。4月11日には、幕府の陸軍總裁勝海舟と東征大総督府参謀の西郷隆盛との間で降伏交渉が重ねられ、江戸城が無血開城されましたが、幕府の歩兵奉行をしていた大鳥圭介は降伏を不服として江戸城を抜け出し、向島(墨田区)で配下の伝習隊と、市川(千葉県市川市)で旧幕府軍とそれぞれ合流して日光・宇都宮をめざしました。そして4月15日、大鳥圭介らの軍勢は仁連・諸川町に入ります。

当日の日記には、諸川町本陣に大鳥圭介(日記には大島啓介と記す)他5名、重左衛門宅には小柴敬三郎ほか6名が宿泊、その他問屋・中村屋・高橋屋・いせや・みねや・いつみや・いせ武・中惣・八百吉などが宿所にあてられました。軍勢は15・16日と2泊し、17日未明に小山宿に向かい出立し、北茂呂二本松(結城市)附近で官軍と鉄炮の打ち合いになったと記しています。

以上、館野重左衛門の日記から幕末・明治の様子を少し紹介しました。

現在、三和資料館で開催中の館蔵資料展「日記の世界」では、今回取り上げた日記をはじめ、江戸時代から昭和の日記類を展示し、その性格や内容などを紹介しています。12月25日まで開催していますので、ぜひご観覧ください。

三和資料館学芸員 小林 靖



健康百科

生活リズムと睡眠

寒い季節になりました。お子さんは、朝、元気に起きられますか。社会全体が夜型になっている現代、夜遅くまで外出している子どもの姿をよく見かけます。

夜型社会は、子どもたちの成長に大きな影響を与えているといわれています。一定の生活リズムと適度な睡眠は子どもの健やかな成長のための「エネルギー源」。子どもの健やかな成長のためにも、家族の生活習慣を見直してみましょう。

睡眠のリズムの発達

人間は24時間を1日とする昼型の生活習慣に適した生き物です。赤ちゃんは、生後4カ月ころには昼夜の区別ができるようになり、「朝起きて夜になったら眠る」の生活リズムが確立します。

私たちの体にある体内時計は、実は1日約25時間で動いています。このため、体内時計を毎日24時間のリズムに調整する必要があり、光や食事、運動などが調整の役割を果たしています。

なかでも、朝の光、つまり太陽の光を浴びることが重要で、毎朝、体内時計をリセットしているのです。



睡眠が大切な理由

大人にとって睡眠は心身の疲労を回復し、翌日の活動に備えるといったものですが、子どもにとっての睡眠は、頭と体を健やかに発達させるために重要な意味があります。

脳や体の発達にはいろいろなホルモンが必要となりますが、これらは睡眠時にたくさん分泌されるため、特に成長期の子どもや赤ちゃんは十分な睡眠時間の確保が大切です。

●成長ホルモン

脳や体の成長や回復に必要なホルモンで、ぐっすり深く眠っているときに多く分泌されます。昔から「寝る子は育つ」といわれますが、成長ホルモンが活発に分泌されると体の成長も促され、力を蓄えることができます。

●メラトニン

情緒を安定させるホルモンで「睡眠ホルモン」とも呼ばれています。眠っているときに目に光が入ると分泌されにくく、真っ暗な状態で眠るとメラトニンの分泌が良くなります。日中に太陽の光を浴びると睡眠時の分泌が良くなるので、昼間はしっかり外で遊び、夜は真っ暗な部屋で眠ることが、心地よい睡眠への近道ということになります。

なお、スマートフォンやゲーム機等から発せられる「ブルーライト」は、メラトニンの分泌を抑制するという調査結

果もあります。睡眠前はできるだけスマートフォンやゲーム機の使用を控えましょう。

子どもの生活リズムを整えるポイント

①毎日同じ時刻で早起き(朝7時くらい)しましょう

夜なかなか眠れないお子さんも、朝、少しずつ早起きできるようにすることが一番の近道です。

②朝起きたらカーテンを開けましょう

太陽の光を取り込んで体内時計をリセットします。外に出て体を動かすこともお勧めです。

③五感を刺激して、朝の目覚めを良くしましょう

顔を洗う水の感触、朝ごはんのにおい、食器の配膳の手伝いなど、できることを決めて継続させることが大切です。

④食事を規則正しく摂りましょう

特に朝食は脳を目覚めさせ、体のリズムを整えます。

⑤日中、晴れた日は外で遊びましょう

太陽の下で遊ぶことは、睡眠を深いものにし、睡眠の質を改善します。

⑥毎日同じ時刻に眠りましょう

電気は消して、できるだけ暗い静かな部屋で、決まった時刻(夜9時まで)に眠るようにしましょう。

憩いのパークの魅力

名残の紅葉と晩秋の蓮池



◀過ぎゆく秋の公園で散歩を楽しませてはいたがです

11月という、冬がすぐそこまで来ているように思われますが、古河公方公園では、まだまだ紅葉が楽しめます。

一言で紅葉といっても、生育条件や個体差によって同じ種類の木でも色づきに差が出ます。

秋の深まりが進む11月は、きれいに紅葉している木もあれば、早めに落葉した木の葉が地面に落ちた様子も味わい深いものがあります。赤や黄色の葉っぱを集めたり、どんぐりや松ぼっくりを集めたり、やわらかく積もった落ち葉をかき集め、思い切り投げても公園なら平気ですよ。

紅葉を楽しむ習慣は古く、平安のころから始まったとされ、和歌にも多く詠まれています。公園管理棟には、俳句の投句箱が設置されています。「一句ひねって」ぜひ、ご投句を。

そして、この時期の公園管

理の一つに、蓮池の冬支度ともいえる大賀蓮の枯れた茎や葉の刈り取り作業があります。

日によっては厳しい寒さの中、水に残る蓮池で、ひざ下まで潜りながら行う作業は、少しの移動にも苦勞するほどです。地中に残した蓮根から翌年伸びてくる新しい浮き葉・立ち葉の生育を邪魔しないようにするため、蓮池全体に再び美しい蓮の花を咲かせるためには欠かすことのできない重要な作業です。

大賀蓮の開花は6月下旬ごろ。来年も美しい花を咲かせてくれることでしょう。

【問】古河公方公園管理棟

☎47-1129



▲枯れ蓮の刈り取り作業



表紙写真



リオデジャネイロオリンピックに体操男子の代表選手に選出され、団体で金メダルを獲得した山室光史選手(コナミスポーツクラブ所属)。今年の夏、古河市に明るいニュースを届けてくれました。

山室選手が小学生のときに誓った「オリンピックに必ず出る」という夢。その夢をかなえ、ロンドン・リオと2大会連続出場を果たしました。

9月21日の感謝状贈呈式で「楽しいことも苦しいこともいっぱいあります。それでも夢はかなうと思います。夢を信じてがんばってもらいたい」と、子どもたちにエールを送った山室選手。夢と感動をありがとうございました！

古河市データ

人口

(10月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,394人 (+56)
男 72,628人 (+3)
女 71,766人 (+53)
世帯数 59,484世帯 (+63)
() 内は前月比

わが家のアイドル



まさたか
篠原 正宝くん (2歳3カ月・東山田)

待望の長男誕生から2年。毎日よく食べ、よく遊び、元気いっぱい！みんなを元気と笑顔にしてくれる魔法の持ち主。名前のように、わが家の「正に宝」です。
(父：宏典 母：教予)

今月の料理

水菜と豚肉の辛子しょう油丼
＜高血圧予防減塩料理＞



- ①水菜500gは洗って4cmの長さに切る。ボールに調味料(練りがらし小さじ2、しょう油小さじ4、すりごま大さじ2)を混ぜておく。
- ②豚ロース肉300gはフライパンで焼き、軽く塩・コショウを振って熱いうちに①の調味料の中に入れ、味をなじませる。
- ③どんぶりにご飯150gを盛り、その上に水菜、豚肉を順番にのせ、真ん中を少しくぼませて温泉卵を割り入れる。

＜4人分＞

＜1人分＞
エネルギー＝508kcal
タンパク質＝20.8g
脂質＝17.7g
カルシウム＝327mg
食塩相当量＝1.2g



(食生活改善推進協議会)

●市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当しています。



子育てアドバイス

ママ友は一生の宝
～みんなで子育てを楽しみましょう～



「子どもはかわいいし、毎日楽しい。でも、どうしたら良いか分からないことも多く、不安や心配なことがたくさんあって大変……」というのがお母さんたちの本音でしょうか。確かに乳幼児の発達心理学を学んだ者でも、個人差という課題もあり、奥が深い子育てです。母子で孤立し、家の中ばかりで生活していると、負担が大きく感じてきます。その結果、ついテレビやスマホに頼ってしまうこともあるのではないのでしょうか。そんなときはぜひ、同年齢くらいの親子が集まる子育て支援ルームに出かけてみることをお勧めします。古河市は子育て支援に力を入れ、子育てひろば「駅前ヤンチャ森」もさらに充実しました。また、それぞれの園でも園庭開放や親子教室などを実施しています。そ

さらに、子育ては大いに祖父母にも頼りましょう。祖父母と接することは、よりたくさんの愛情を受けると同時に、さまざまな考え方や価値観に触れ、脳力向上にも良いとされています。子どもはみんなの宝物。まわりのいろいろな人の力を借りて、楽しむ子育てができると思います。

ここでは、子育て中の仲間との交流はもちろん、ベテラン保育教諭に育児相談もできます。ママ友づくりをするお母さんの社会性は、子どもが友達と関わっていくうえでの模範にもなります。



しらゆり幼稚園

平成28年11月1日発行
●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野224-8 古河市役所 0280-923111
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.furukawa.lg.jp/>